

●トラブルシューティングその1

- kadai1.html は入力された **1桁**の
- 2つの数値を比べてどちらが
- 大きな数値かを判定する
- プログラムの予定です。

- しかしながら、なぜかうまく動きません。
- プログラムのミスを見つけて
- 正しく動くように修正してください。

●トラブルシューティングその2

- kadai2.html は入力された西暦が
- **うるう年**なのかどうかを判定する
- プログラムの予定です。

- しかしながら、うるう年ではないはずの
- **1900年がうるう年となってしまう**など
- うまく動きません。
- 正しく動くように修正してください。

● アルゴリズム課題その 1

- kadai3.html を使って
- 入力された西暦が何世紀に属するのか
- を算出するプログラムを書いてください。

- 1901年→20世紀
- 1999年→20世紀
- 2000年→20世紀
- 2001年→21世紀

アルゴリズム課題その 1				
西暦を入力すると、何世紀なのかを表示します				
例:1901	⇒20、	1999⇒20、	2000⇒20、	2001⇒21
西暦 1999				
西曆計算!				
20				
世紀です。				

● アルゴリズム課題その 2

- kadai4.html を使って
- 右図のように
- 1~500までの数値で、
- 6の倍数のときは6の倍数
- 3の倍数のときは3の倍数

アルゴリズム課題その2(倍数)

実行!

3:3の倍数

6:6の倍数

9:3の倍数

12:6の倍数

15:3の倍数

18:6の倍数

21:3の倍数

24:6 の倍数

27:3の倍数

30:6 の倍数

33:3 の倍数

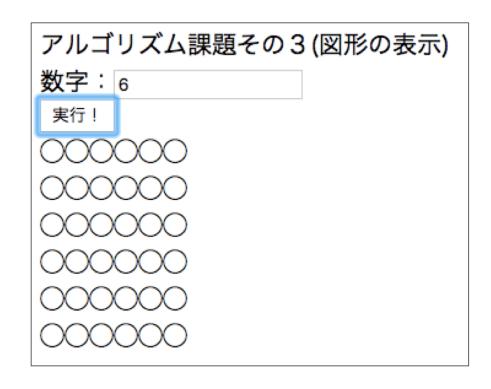
36:6 の倍数

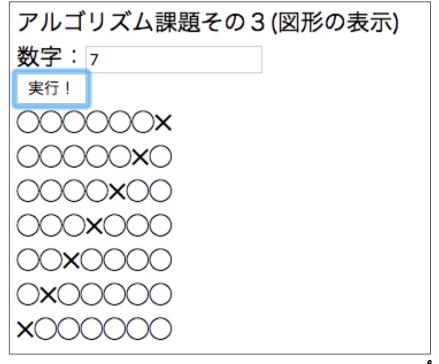
39:3 の倍数

- と表示するプログラムを書いてください。
- どちらでもない場合は表示しません。

●アルゴリズム課題その3

- kadai5.html を使って下図のような図形
- を描くプログラムを書いてください。





●アルゴリズム課題その3

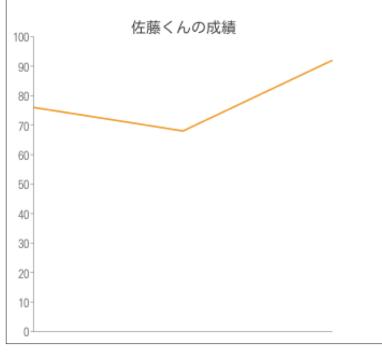
- 入力された数値(nとする)が、
- nが
- 偶数の場合はn×nの四角形を○で描き、
- 奇数の場合はn×nの四角形を描くが、
 - ✓右上から**対角線部分は**×で描き、
 - ✓それ以外は○で描く
- ものとする。

●応用課題

- kadai6.html
- **-** を使って
- 右図のような
- **グラフ**を描く
- プログラムを
- 書いてください。
- (Y軸目盛りあり)

最終課題(google chart api) 以下の表で表された佐藤くんの成績を折れ線グラフで表示せよ。

1学期	2学期	3学期
76	68	92



●応用課題

- この課題に取り組むには
- **教えていない技術**を使う必要があります。

- インターネットを使って
- 「<u>Google Chart API 図形</u>」などで
- 検索しながらチャレンジしてください。
 - ✓検索ワードにはより適切なワードがあるかもしれません。